



中島 真弓



動画配信中

林野火災の再発予防の徹底を！

問 西宮林野火災の教訓を生かし、復興に向けた新たな条例の制定や宣言を行うことについてどのように考えているのか。

市長 二度とこのような火災を発生させないためのルールづくりや新たな条例の制定、宣言の実施は有効と考えている。大規模な林野火災を経験した本市だからこそ、他市の先進事例となるように、しっかりと取り組みを推進していきたい。

◆買物弱者の移動手段の確保
問 地域共助型の持続可能な公共交通の運行実現に向け、モデル地区の設定などの取り組みが必要ではないか。

生活環境部長 モデル地区を設定することは移動手段確保のための方法の一つと考えるが、地区によって人口や店舗の立地状況、公共交通の状況が異なることから、地区の課題をつぶさに検証する必要がある。交通空白地の問題は持続可能な地域づくりのためには避けて通れないことから、おでかけ創造チャレンジ事業の見直しの中で研究していく。



大谷 弥生



動画配信中

誰もが安心して暮らせるまちづくりを！

問 新型コロナウイルスワクチンの接種は努力義務にも関わらず、接種の強要や接種を受けられないことへの差別的な扱いなどが報告されている。このようなハラスメントを防ぐため、人権啓発をさらに強化すべきと考えるがどうか。

総務部長 健康上の理由などからワクチンを接種できない方もいる。そのような方々に対する差別的な扱いがないよう人権啓発の一環として関係機関等と連携を図るとともに、SNSや広報あしかがみで周知していく。

◆ヤングケアラー
問 ヤングケアラーが相談できる体制の整備が必要であるが、相談窓口として無料通信アプリLINEを活用できないか。

健康福祉部長 10代の若年層の約9割が利用しているLINEは相談等に対して有効なツールであることから、本市のLINE公式アカウントやSNSなどの若者が扱いやすいツールを活用することで知りたい情報や相談窓口を分かりやすく的確に案内できるように検討していく。



須田 瑞穂



動画配信中

ワクチン接種体制の強化を！

問 ワクチンの接種率を向上させるため、群馬県や東京都などを参考に若者世代のワクチン接種に対するインセンティブを検討してはどうか。

健康福祉部長 現在、足利市医師会と足利赤十字病院の協力をいただきながら、すべての接種希望者が一日でも早く接種できるように努めており、ワクチンの確保や多様な接種機会の提供が接種の促進につながると考えている。インセンティブについては、世代別の接種状況などを踏まえ研究していきたい。

◆経済対策
問 令和2年度に県が行ったとちぎ応援プレミアムチケットの再実施を県に働きかけることはできないのか。

市長 新型コロナウイルス感染症は経済活動や生活様式等に大きな影響を与えており、感染拡大の状況に応じて適切な対策を実施する必要があることから、とちぎ応援プレミアムチケット等の消費喚起策について市長会を通じて県と協議していくとともに、市議会とも議論を深めていきたい。